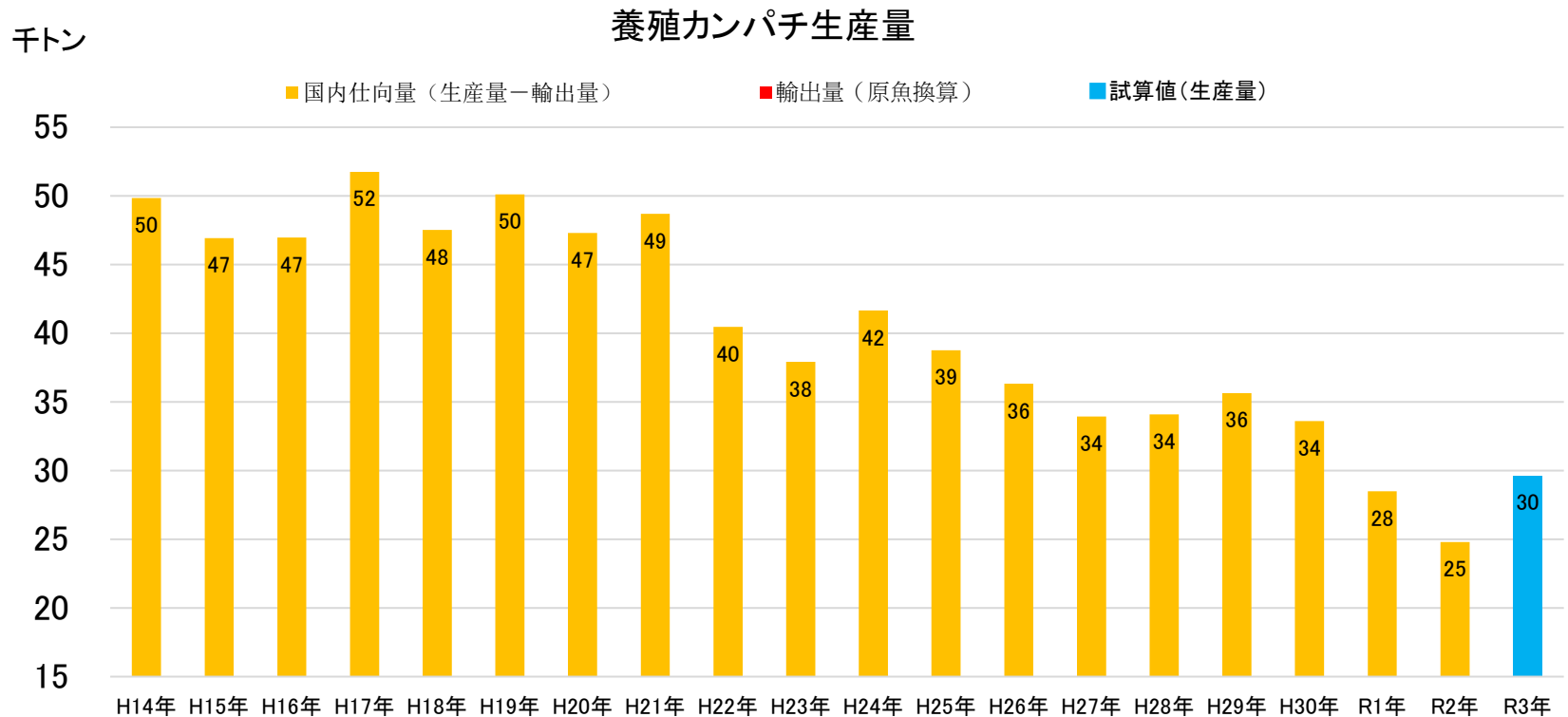


# カンパチの養殖生産数量ガイドライン(案) について

# カンパチの生産量

- H30年の種苗活込尾数は約6,400千尾及びR元年の活込尾数は約7,100千尾(2カ年平均では約6,700千尾程度)、R2年の生産量は25千トンとなった。
- R元年及びR2年の種苗活込尾数が約7,100千尾及び7,000千尾であったため、R3年の生産量は30千トン程度になるものと推定される。



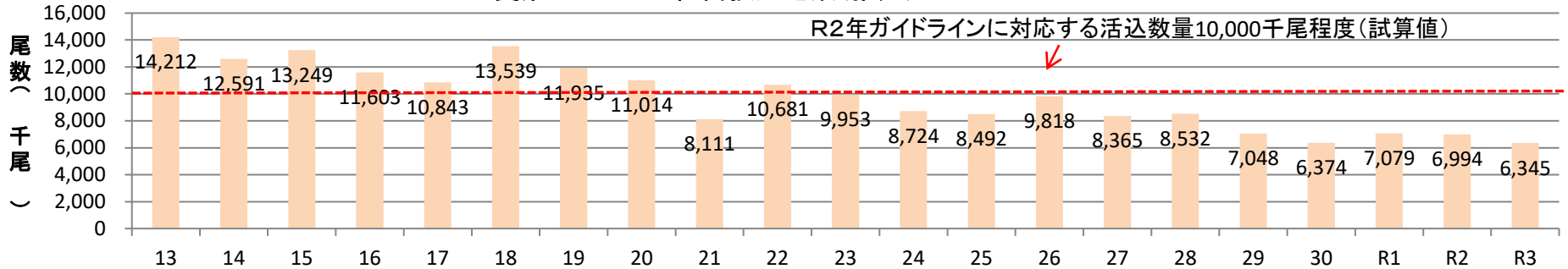
※ 令和3年の生産量(見込み)は、過去の種苗投入尾数と生産量を基に、水産庁が算出した値。

※ 出典：①生産量：漁業・養殖業生産統計年報(令和2年の生産量は概数値)。

②輸出量：財務省貿易統計

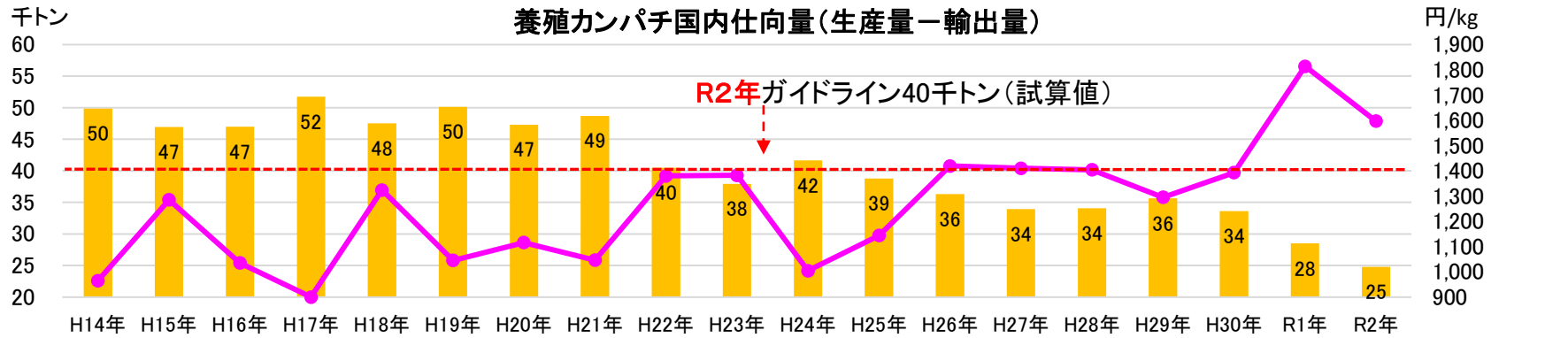
# カンパチ種苗導入・国内仕向量・全国市場価格の推移

## 養殖カンパチの種苗投入尾数(推定)



※(一社)全国海水養魚協会資料及び水産庁調査を基に水産庁で作成。

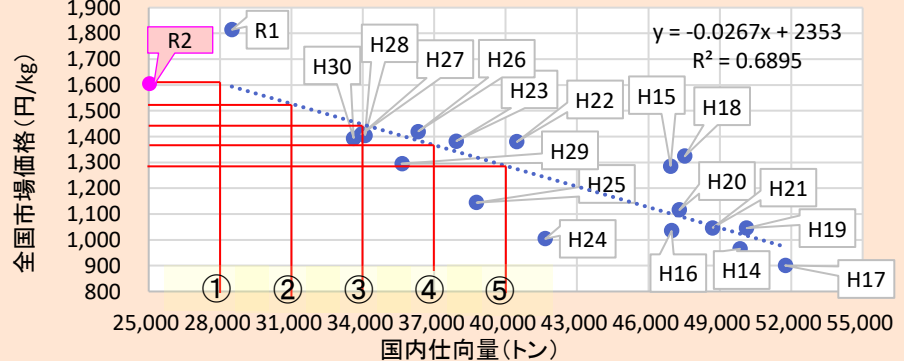
## 養殖カンパチ国内仕向量(生産量-輸出量)



※出典:①生産量:農水省漁業・養殖業生産統計年報 ②輸出量:財務省貿易統計  
③市場単価:中央卸売市場調べ(調査対象:東京、横浜、大阪、広島、北九州、福岡)

■ 国内仕向量(生産量-輸出量)    ● 市場単価(円/kg)

## 養殖カンパチ 国内仕向量と全国市場価格



	国内仕向量 (トン)	尾数換算 (千尾)
①	28,000	6,667
②	31,000	7,381
③	34,000	8,095
④	37,000	8,810
⑤	40,000	9,524

※近似線及び決定係数( $R^2$ )はR2年を除外(H14~R1年)  
 ※国内仕向尾数=1尾4.2kgとして国内仕向量から換算。  
 ※市場価格と浜値には差がある。